大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2023年第6週(2月6日~2月12日)

今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ やや減少し

第6週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,489例であり、前週比3.1%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、突発性発しん、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.51、0.46、0.19、0.19、0.15である。

感染性胃腸炎は前週比5%減の1,262例で、南河内11.25、大阪市北部8.00、三島7.88、泉州6.63、中河内6.60であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は25%増の89例で、大阪市南部1.33、中河内1.00、北河内0.48である。 流行性角結膜炎は前週と同数の10例で、三島0.75、中河内0.60、泉州0.50であった。

RSウイルス感染症も前週と同数の29例で、南河内・大阪市北部0.50、大阪市西部0.30である。

インフルエンザは6%減の8,381例で、定点あたり報告数は28.12であった。南河内44.96、北河内38.30、大阪市北部36.20、大阪市西部35.40、堺市31.54と府内5ブロックで警報レベルを越えている。

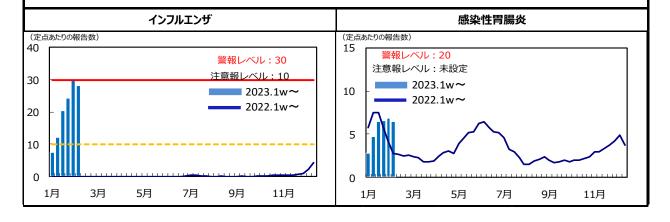


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2023年 第6週2月6日~2月12日)

第6週の 順位	第5週の 順位	感染症	2023年 第6週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2022年 第6週の 定点あたり 報告数	2023年第6週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	6.51	5%減	2.63	1歳_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.46	25%増	0.18	4歳_24%
3	3	流行性角結膜炎	0.19	増減なし	0.04	20歳以上_70%
4	4	突発性発しん	0.19	23%増	0.18	1歳_62%
5	5	RSウイルス感染症	0.15	増減なし	0.09	1歳_34%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	28.12	6%減	0.01	10-14歳_22%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

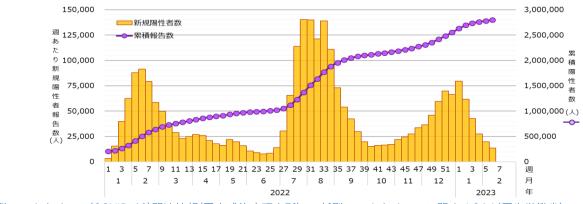
第6週のコメント

〜新型コロナウイルス感染症〜 基本的な予防の徹底を(マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避)

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

第6週の新型コロナウイルス感染症の週あたり新規陽性者報告数は13,592名であり、前週より31%減少した。大阪モデルは、2月1日に非常事態(赤)から警戒信号(黄)に移行した。新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫・エアロゾル・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1~14日であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の肺炎症状が現れる。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、ワクチン接種、マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、隔離、接触者調査が重要である。



新型コロナウイルス(COVID-19)関連情報(国立感染症研究所) 新型コロナウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について(大阪健康安全基盤研究所)

新型コロナウイルス感染症関連特設サイト(大阪府)

表 2. 大阪府全数報告数(2023年 第6週2月6日~2月12日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数府内累積
3類感染症	腸チフス	1								1	2
	マラリア(熱帯熱)	1			1						1
4類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	1								1	10
	レジオネラ症(ポンティアック熱型)	1				1					
	ウイルス性肝炎	1								1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1						1		10
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1								12
	侵襲性肺炎球菌感染症	3				2			1		12
	梅毒	15	4	1	3	1	1			5	147
新型インフルエンザ等感染症	インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症		2020年1月以降累積 2,796,192								
結核	結核 新登録患者数:87名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 33名)										
(2022年12月分)	(府内累積報告数 1,117名、内 肺・喀痰塗抹陽性 446名)										

(2023年2月14日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。